

1. 科目名 (単位数)	データベース演習 I (2 単位)	3. 科目番号	EDIT3313
2. 授業担当教員	阿布都乃比吾不力	5. 開講学期	春期
4. 授業形態	演習		
6. 履修条件・他科目との関係	科目「コンピュータサイエンス I」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	本科目では、リレーショナルデータベースに関する基礎知識を、演習を通して考える。データベース、データモデルなどの概念を理解するとともに、データベースの効率的な検索技法を身につけることを目標とする。また、関係データベースを利用するための言語である、SQL 言語の基礎を解説し、SQL 言語を用いた基礎的な演習を行う。		
8. 学習目標	現在、主流であるリレーショナルデータベースの仕組みについて学ぶだけではなく、データベース管理システムの歴史と、それらの管理システムを可能にしたハードウェアの仕組み、数学の概念、ソフトウェアの基本も学ぶことを目標とする。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	単元終了ごとにテキストの演習問題を課題とする。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 中山 清喬 (著), 飯田 理恵子 (著), 株式会社フレアリンク (監修) 『スッキリわかる SQL 入門 第 3 版 ドリル 256 問付き! (スッキリわかる入門シリーズ)』 出版社 : インプレス 【参考書】 講義の中配布されたプリントを参照し、用語を理解する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ①リレーショナルデータベースの仕組み、②データベース管理システムをそれらの管理システムを可能にしたハードウェアの仕組み、③データベースに必要な数学の概念、④データベースの設計ツール、上記 4 点について学ぶことはできたか? ○評定の方法 1. 授業ごとに提出されるレポート、小テスト、課題提出状況など 70% 2. 授業への積極的参加と受講態度 30%		
12. 受講生へのメッセージ	事前学習を怠らないこと。やむを得ず欠席した場合は各自で補完すること。データベース演習 II への基礎となるため確実な理解を。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	はじめに	事前学習	はじめを先に読んでまとめる。
		事後学習	配布されたプリントを参照し、自宅でも設定できる。
第 2 回	SQL で学ぶにあって	事前学習	第 0 章を先に読んでまとめる。
		事後学習	配布されたプリントを参照し、自宅でも設定できる。
第 3 回	データベースとは	事前学習	データベースの概念をまとめる。
		事後学習	第 1 章を先に読んでまとめる。
第 4 回	第 1 章のまとめ	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 5 回	SQL の基本ルール(2.1~2.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 6 回	SQL 文の実行 1 (2.4~2.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 7 回	SQL 文の実行 2 (2.7~2.9)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 8 回	操作する行の絞り込み 1 (3.1~3.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 9 回	操作する行の絞り込み 2 (3.3~3.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 10 回	検索結果の加工 1 (4.1~4.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 11 回	検索結果の加工 2 (4.4~4.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 12 回	式と関数 1 (5.1~5.4)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 13 回	式と関数 2 (5.5~5.8)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 14 回	集計とグループ化 1 (6.1~6.3)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。
第 15 回	集計とグループ化 2 (6.4~6.6)	事前学習	配布されたプリントを参照し、用語を理解する。
		事後学習	練習問題を自宅で復習をする。